

お母さんといっしょに料理づくりに熱中

～母と子の楽しい料理教室～



おいしい料理づくりにみんな真剣

村と保健所共催による「母と子の楽しい料理教室」が、十二月二十七日農村環境改善センターで開かれました。

これは、自分達で作ったものを食べる喜びのなから食生活の基本を身につけていこうと、小学校中・高学年を対象に開かれたもので、母子四十一人が参加、基礎食品の栄養についての話を聞いたあと、エプロン姿の女の子に交じって男の子も、いなりずし、フールツカスタード、キャベツサラダ、づくりを楽しんでいました。

「友達が玉ねぎを切っている時、目がしみて三、四回目を洗って大変だった」といながらも、普段、手伝いをしている子供が多く包丁さばきもなかなかのもの。お母さん

△過日、亡くなられました中川シズさんのご遺族中川政吉氏より、葬儀に際しての香典返しとして五万円が村社会福祉協議会に寄付されました。

降は同じ家庭の中に起居していても、それぞれが学校を中心に友人をもつようになり、その友人との交流がきょうだいよりも優先するようになります。異性のきょうだい構成の場合には、これに傾向が認められます。これに対して幼い時期には、ふたりが激しく衝突することもあれば、仲良く遊んだり、励ましあって留守番をしたりもします。

遺産相続の無料相談

「相続登記はおすすめですか月間」

—新潟県司法書士会—

新潟県司法書士会では、二月の一か月間を「相続登記はお済みですか月間」として無料相談を実施しています。

親がなく、土地や家屋などを相続しても登記はつい忘れがちです。相続登記はいつまでにしなければならぬとの定めはありませんが、トラブルを起さないためにも相続登記は早めに行うことをお勧めいたします。

新潟県史刊行のご案内

—予約募集中—

新潟県が立県百年の記念事業として編さんを進めている「新潟県史」は、昨年度に続いて、平成元年三月に二巻が刊行されます。

本年度をもちまして、新潟県史全三十七巻のうち、通史編九巻・資料編二十四巻・別編三巻の計三十六巻の刊行を終了することになります。

△過日、亡くなられました中川シズさんのご遺族中川政吉氏より、葬儀に際しての香典返しとして五万円が村社会福祉協議会に寄付されました。

△過日、亡くなられました中川シズさんのご遺族中川政吉氏より、葬儀に際しての香典返しとして五万円が村社会福祉協議会に寄付されました。

△過日、亡くなられました中川シズさんのご遺族中川政吉氏より、葬儀に際しての香典返しとして五万円が村社会福祉協議会に寄付されました。

昭和63年分 納税相談のご案内

- ◎譲渡・営業関係の納税相談
 - 会場 役場多目的ホール
 - 2月27日(月) 譲渡
 - 9時30分～16時
 - 28日(火) 営業
 - 9時～16時
 - 3月1日(水) 営業
 - 9時30分～16時
- ◎農業所得者の確定申告と納税相談

- ◎住民税の申告と納税相談
 - 会場 役場多目的ホール
 - 9時～16時
 - 3月9日(木)
 - 横越上・中地区
 - 10日(金)
 - 横越下・川根谷内地区
 - 13日(月)
 - 沢海・焼山地区
 - 15日(水)
 - 木津・二本木地区
 - 16日(木)
 - 小杉・藤山・駒込地区

横越村が生んだ日本民俗学の先駆者小林存翁が亡くなったから二十八年余りに、このほど、翁の縁籍関係にある曾我広見氏(横越)が「烏啼句集小林存」の執筆を終え、二月末に発刊することになりました。

曾我広見氏が「烏啼句集」を発売

横越村が生んだ日本民俗学の先駆者小林存翁が亡くなったから二十八年余りに、このほど、翁の縁籍関係にある曾我広見氏(横越)が「烏啼句集小林存」の執筆を終え、二月末に発刊することになりました。

家族みんなて加入を

一日一円の交通災害共済

村では、新潟県交通災害共済組合の一日一円の会費で最高百万円の保障、会員相互の助け合いを目的とした「交通災害共済」の加入をよびかけています。

「交通戦争」「交通地獄」といわれる現在、交通事故は他人事ではなく、誰が、いつ不幸な事故に遭うかわかりません。「自分だけは絶対交通事故

を起さない、遭わない」と思っているあなた、交通ルールをきちんと守り、安全運転をしていますか?

このような方が一に備えて平成元年度も一日一円の安い掛金の交通災害共済に、家族全員が加入されるようお勧め

加入できる人：横越村に在住の人は、どなたでも加入できます。

掛金：一人年額三百五十円です。(途中加入の場合も同額)

加入手続き：二月中に嘱託員を通じて平成元年度の申込書を配付しますので、一人三百五十円を添えて申し込んで下さい。

たら役場住民課の係に相談して下さい。

税務署からの お知らせ

新潟税務署では、納税相談会場の混雑を緩和するため、庁舎前にプレハブ納税相談所を設置しています。

新しい家族 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学 武 摩 俊 託

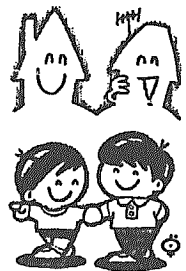
「ぎきょうだいの「ぎ」という字は「擬」がよろしいでしょう。「義」を使うと別の場合と混同されます。血縁関係のない、よその子供と、きょうだいに擬した間柄をつくってはいかがですかという勧めです。

よく知られているように、わが国は一家族あたりの子供の数が著しく減っています。一人っ子が一〇％から一五％もいます。きょうだいが一人のもの、つまり二人きょうだいが六割から七割に達します。いまの親たちの世代のきょうだいの人数と比べると、半分程度になるでしょう。

俳句

(公募作品)

- 第一位 句題 ○寒梅 ○行く年 ○雲
- 第二位 初霽 豚舎は厚く 糞を敷き (二本木) 小林 竹生
- 第三位 行年や つましく生きて 母子家庭 (二本木) 小林千恵子
- 第四位 包丁に 薄き錆来て 年ゆけり (横越) 佐藤 ユリ
- 第五位 震る、や 床屋真昼の 灯をふやす (木津) 佐藤 々泉
- 第六位 ていねいに 筆を洗うて 年惜む (木津) 今井 天花
- 第七位 百姓に 憂き事多き 年行けり (木津) 坪谷 耕雨
- 第八位 みぞれふる 駅長濡れて 貨車発たす (木津) 佐藤 々泉
- 第九位 寒梅の 蕾いきいき 嫁定まる (木津) 今井 天花
- 第十位 行年や 郵便局の 貸し目鏡 (二本木) 坂井 美峰



同じであることが、いい関係が続けるために必要です。